

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業  
総合目録データベース遡及入力事業  
平成 20 年度公募要項

平成 19 年 11 月

国立情報学研究所

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業  
総合目録データベース遡及入力事業  
平成 20 年度公募要項

目次

1. 事業概要	2
1. 趣旨	
2. 事業の種類と実施方式	
2. 応募	2
1. 留意事項	
2. 応募方法	
3. 応募締切	
4. 送付	
3. 採択	5
1. 採択数	
2. 採択基準	
4. 事業の実施	6
1. 実施期間	
2. 契約形態	
3. 経費	
5. スケジュール	7
6. 問い合わせ先	7

## 1. 事業概要

### 1.1. 趣旨

国立情報学研究所では、研究及び教育における情報入手を保障するため、参加館所蔵資料へのアクセス環境の整備を行うことを目的として目録所在情報サービスの多言語化や参照ファイル増加など、各参加館の遡及入力業務を支援してまいりました。さらに、平成 16 年度からは参加館と協同して全体的な遡及入力事業を進めております。

平成 20 年度も、以下の方針に基づいて本事業を継続して実施いたします。

### 1.2. 事業の種類と実施方式

以下の 3 種の事業を実施します。

事業	対象	実施方式	備考
A	大規模遡及入力支援	国立情報学研究所から機関への事業委託	所蔵登録を中心とする大規模入力 他の資金と併用されスケールメリットが受けられるとなおよい
B	自動登録支援	ソフトウェアの貸与	CAT 未登録の電子化された所蔵データが必要
C	多言語・レアコレクション	国立情報学研究所契約業者による入力	韓国・朝鮮語資料 アラビア文字資料 タイ文字資料 デーヴァナーガリー文字資料 書誌作成が必要となるような資料を中心としたコレクション

## 2. 応募

入力対象となる資料について、本事業への参加を希望する機関から事業計画書を提出していただきます。

### 2.1. 留意事項

#### 2.1.1. 共通

##### 2.1.1.1. 応募に関する留意事項

- (1) 本事業の対象とする資料は、ILL 等外部利用が可能であることを前提とします。
- (2) 本事業では、書誌レコード、所蔵レコードともに NACSIS-CAT へ登録することを前提としています。ローカルデータベースのみへの登録は出来ません。

入力内容は、NACSIS-CAT の書誌レコード及び所蔵レコードのデータに限ります。各機関独自形式のデータ納入が必要な場合、作成費用は各機関にてご負担ください。

本事業により登録されたデータが必要な場合は、「総合目録個別版」を利用してください。

「総合目録個別版」に関しては、下記の URL を参照してください。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/options.html#jump7>

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/n12/No2/0207.htm>

- (3) 入力データに関するレコード調整等は、通常のレコードと同様に作成館が責任を持つものとします。
- (4) 資料の装備は各機関で行ってください。入力作業の過程で必要な場合、作業費用は各機関にてご負担ください。

## 2.1.2. 事業A

### 2.1.2.1. 応募に関する留意事項

- (1) 各機関における遡及入力計画の前倒し実施を支援し、図書館資料の共同利用を推進することを目的としますので、できるだけ多くの資料を効率的に登録してください。
- (2) NACSIS-CAT の基準を満たす書誌データを作成してください。
- (3) 委託額は、事業計画書の申請額と内容により決定します。なお、申請額の上限は1,500万円です。入力が期限内に完了するよう会計手続き等の期間もご考慮ください。
- (4) 外注契約の成立後、外注契約書の写し及び仕様書を国立情報学研究所にお送りいただきます。委託額の範囲内で外注契約に係る実費を支払います。なお、外注契約の冊数が事業計画に満たない場合は、委託の取消を含め見直させていただきますのでご了承ください。

### 2.1.2.2. 計画書記入に際しての留意事項

#### (1) 「機関の遡及計画（全体）」

遡及入力計画の全体像や本申請の目的、本委託以外の資金確保状況等について、記入してください。その他資金の種類（運営交付金、寄付金等）は問いません。

#### (2) 「本申請の入力計画」

全体計画における本申請の位置づけ、年間計画、本委託以外の資金との用途の区別等を説明してください。

#### (3) 「本申請の学術研究における意義」

対象資料を登録することの学術研究における意義、他機関への貢献、対象資料の内容等について記入してください。

#### (4) 「遡及入力対象資料について」

内訳を記入してください。言語別、コレクション別、年代別等の区分は機関で決めていただいて結構ですが、図書以外の資料（雑誌やマイクロ資料、視聴覚資料等）は独立してご記入ください。行は適宜増やしてご記入ください。

#### (5) 「外注費」

本委託事業に必要な金額、および機関側で準備可能な金額を記入してください。

## 2.1.3. 事業B・C共通

### 2.1.3.1. 計画書記入に際しての留意事項

- (1) 事業実施の結果、計画書の内容と事実が著しく異なった場合は、翌年度その機関の事業を採択しないこととします。特に冊数、ヒット率はできるだけ正確に記入してください。
- (2) 「機関の遡及計画における本申請の位置づけ」(記入必須)の欄には、遡及入力計画の全体像や本申請の目的、この案件が採択されなかった場合、各機関で予算を確保して入力作業を実施する予定があるかどうか等、記入してください。予定がある場合は、確保予定額、入力予定冊数等を記入してください。
- (3) ヒット率はサンプル抽出等により算出してください。
- (4) 「【資料の特色】」にはコレクションの特色、その資料を登録した場合の学術研究に対する意義・貢献等、対象資料の内容について記入してください。(記入必須)  
また館報等、コレクションに関する参考文献がありましたら、計画書に添付してお送りください。参照先 URL の記入も可能です。

- (5) 「平成 18 年度業務分析表の数値」には、平成 19 年 8 月 6 日付で各機関に送付した、平成 18 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表から、それぞれの数値を書き写してください。「図書書誌新規作成件数」は「H18 年度 NACSIS-CAT 業務分析表」帳票を、それ以外の項目は「H18 年度機関別 NACSIS-CAT/ILL サービス品質グラフ 全国平均」帳票をご覧ください。

## 2.1.4. 事業 B

### 2.1.4.1. 応募に関する留意事項

- (1) 自動登録支援は、市販の自動登録ソフト (NC-Auto ver.2) の貸与のみ行います。投入データの作成、データの検証、ローカルデータベースへのダウンロード等は、各機関で行っていただくこととなります。
- (2) 貸与するソフトには、各メーカーの図書館システムに対応したローカルデータベース取込みプログラムはついていません。ローカルデータベースへの取込み方法は、各機関にて検討していただくこととなります。
- (3) 自動登録については、平成 16 年度、17 年度に実施した「自動登録システム実証実験」の報告書も参考にしてください。

URL : [http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat\\_info\\_catpauto2.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_catpauto2.html)

## 2.1.5. 事業 C

### 2.1.5.1. 応募に関する留意事項

- (1) 事業の対象とする資料は、NACSIS-CAT の書誌レコードが未登録のものを中心とします。雑誌も対象です。和漢古書は本事業の対象外です。
- (2) 多言語資料の場合、翻字形で登録されている既存書誌レコードの原綴文字への修正のみを目的とする作業は、本事業では対象外とします。
- (3) 登録冊数に関しては調整させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

### 2.1.5.2. 計画書記入に際しての留意事項

- (1) 「遡及入力対象資料」の冊数について、対象資料に雑誌が含まれる場合は、内数として冊数・タイトル数をご記入ください。また書誌ヒット率、推定新規作成書誌数については、図書と雑誌それぞれの数値を記入してください。
- (2) 入力作業に関して、あらかじめ想定される制限事項(作業時期、作業場所等)がありましたら、「その他」の欄に記入してください。

## 2.2. 応募方法

### 2.2.1. 応募の単位

1 機関が複数の事業について応募していただくことも可能です。また、事業 C を複数件応募していただくことも可能です。

### 2.2.2. 事業計画書の様式と送付部数

#### (1) 様式

同封の計画書にご記入ください。ウェブサイト (<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>) からファイル (MS-word 版) をダウンロードできます。

## (2) 提出書類

下記の書類を1部送付してください。事業によって提出書類が異なります。

- ・ 事業 A
  - ・ 平成 20 年度総合目録データベース遡及入力事業計画書[事業 A] (3 種)
  - ・ 事業計画を作成するにあたって参考にした資料 (見積, 前年度実績など)
- ・ 事業 B
  - ・ 平成 20 年度総合目録データベース遡及入力事業計画書[事業 B]
- ・ 事業 C
  - ・ 平成 20 年度総合目録データベース遡及入力事業計画書[事業 C]

## (3) その他

事業計画書のレイアウトは変更しないでください。

## 2.3. 応募締切

応募締切は、以下の通りとします。

- ・ 平成 20 年 1 月 31 日 (木) (当日必着, メール送付は 17:00 まで)

期限を過ぎた場合には受理できませんので、ご注意ください。

## 2.4. 送付

提出書類は、郵便、宅配便等により送付してください。

封筒の表面に赤字で、「総合目録データベース遡及入力事業 平成 20 年度応募書類在中」と明記してください。

あわせて事業計画書を電子メールでもお送りください。その場合は、メールの件名を「総合目録データベース遡及入力事業平成 20 年度応募」としてください。

送付先：〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課

図書館連携チーム NACSIS-CAT/ILL 担当

電子メール：catadm@nii.ac.jp

## 3. 採択

### 3.1. 採択数

いずれの事業も、若干数を予定しています。

### 3.2. 採択基準

採択にあたっては、以下の項目を考慮し総合的に判断して決定いたします。

#### (1) 事業 A

- ・ 申請冊数が多いこと
- ・ 自己資金が有ること
- ・ 機関全体の遡及計画があること
- ・ 1冊あたりの単価が低いこと
- ・ 効率性が高いこと

## (2) 事業 B

- ・ NACSIS-CAT 書誌ヒット率が高いこと
- ・ 該当コレクションが外部から利用できること
- ・ 機関の遡及計画の中に明確に位置づけられるものであること
- ・ NACSIS-CAT 登録実績, NACSIS-ILL 受付実績があること

## (3) 事業 C

- ・ NACSIS-CAT 書誌ヒット率が低いこと
- ・ 該当コレクションが外部から利用できること
- ・ 機関の遡及計画の中に明確に位置づけられるものであること
- ・ NACSIS-CAT 登録実績, NACSIS-ILL 受付実績があること
- ・ 該当コレクションの言語, 内容

## 4. 事業の実施

### 4.1. 実施期間

#### 4.1.1. 事業 A

始期は契約が締結された日とし、終期は平成 21 年 3 月 31 日（火）となります。

#### 4.1.2. 事業 B・C

採択結果通知後、各機関と調整の上決定します。

### 4.2. 契約形態（事業 A のみ）

国立情報学研究所と実施機関との間において、単年度委託契約を締結します。

#### 【事業 A の契約の流れ】

委託契約の締結（国立情報学研究所⇔受託機関）

↓

外注契約の締結（受託機関⇔業者）

国立情報学研究所へ外注契約書の写しを送付

↓

仮払いの場合、委託費の請求（受託機関⇒国立情報学研究所）

↓

事業実施

↓

委託事業終了後、外注業者の納品書及び請求書の写し、ならびに業務完了報告書を提出  
（受託機関⇒国立情報学研究所）

↓

完了後支払いの場合、請求書の送付（受託機関⇒国立情報学研究所）

### 4.3. 経費（事業 A のみ）

執行可能な経費は、以下のとおりです。

- ・ 遡及入力外注費

## 5. スケジュール

平成 20 年 1 月 31 日 (金)	事業計画書の提出締切
平成 20 年 3 月中旬	採択通知
平成 20 年 4 月～	順次事業実施

## 6. 問い合わせ先

本件に関するご質問は、下記までお願いいたします。

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課

図書館連携チーム NACSIS-CAT/ILL 担当

電話：03-4212-2310

電子メール：catadm@nii.ac.jp

以上